

新任相談員紹介



安宅 榮一

労働安全コンサルタント・作業環境測定士の資格で相談員になっている安宅榮一です。青森県人になって早20年、また労働安全コンサルタントになってから12年経ちましたが、平成11年から岩手県北上市へ7年半の間単身赴任をしていたため、どちらかという岩手の労働行政が詳しいこともあり、今でも岩手労働基準協会花巻支部のエリアでの労働安全衛生の指導・教育に出掛けています。

幸いにも労働安全コンサルタントの資格は「化学」であるために、作業環境測定等労働衛生の資格や講師要件を満たしていることから、昨年より特別相談員を仰せつかり、「化学物質管理」についての講義をさせて頂きました。平成20年4月からは、労働衛生工学担当相談員として、特に最近何かと注目の浴びているリスクアセスメントを主に担当しております。

今まで自分としては、労働安全の指導では「自分は怪我しない、仲間を怪我させないために行動する」人づくりを心掛けて来ましたが、最近の指導・教育では「労働安全衛生は、気付きと気配りをもって進める」ことをお願いしております。特にリスクアセスメントを実施していく場合、その作業や機械設備の危険性又は有害性への「気付き」は重要なポイントとなりますし、低減措置を考える時には作業員への「気配り」が大きな要素となります。

こうしたことを念頭に相談員として努めて参りますので、労働衛生工学から労働安全に関わることについて何なりと相談いただければ幸いです。



穂元 正明

この4月より、カウンセリング担当相談員として青森産業保健推進センターに勤務させて頂いております穂元正明と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまで主に各省庁の出先機関や民間企業等で、働く人の悩み相談という形でカウンセリングの場を積み重ねてまいりました。その他青森公共職業安定所においては、就職希望者に対しても心理相談を行っております。

最近では事業所や団体でのメンタルヘルスの教育研修という場へ呼ばれることも多いのですが、メンタルヘルス不調者がすでに発生している職場が目立ってきております。周囲の人達がどのように関わっていけば良いかとか、職場としての今後の対応をどうすれば良いか等、事業所での様々な苦慮する声が聞こえてきます。心の健康づくりへ積極的に取り組む姿勢が必要な時代なのだと感じております。

まだまだ経験も浅く未熟な部分の多い私ではございますが、事業所でのメンタルヘルス体制を形作る過程で、微力ながらもお役に立つ機会が得られますよう、がんばって行きたいと考えております。



福原 智子

看護師として2年間臨床を経験した後、保健師として31年間企業で従業員の健康管理に携わりました。今年4月からは、労働衛生コンサルタントとしての活動も始めております。

長く産業保健に関わってきて実感しているのは、「人に優しい時代ではない」といわれる現代の社会の中で、労働者はそれぞれに多様な悩み・不安・問題を抱えながら職業生活を送っており、それに対するサポートは必ずしも十分にはされていないという現実です。これは、「社会全体の余裕の無さ」が背景にあるためかもしれません。こんな時代だからこそ、知恵を出し合い、「人に優しくない時代の中にあっても、人は人に優しい」、そんな環境を作っていきたいものです。

もとより微力ではございますが、少しでもお役に立つことができれば、と願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。